

本 格 の 輝 き

第
38
回

読売書法展

The Yomiuri Calligraphy Exhibition 2022

出品の手引き

読売新聞

読売書法会事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社 事業局内

TEL：03-3216-8903 FAX：03-3216-8977

Mail：t-shohokai@yomiuri.com ホームページ：https://yomiuri-shohokai.com

はじめに

読売新聞社と読売書法会は、今年も『読売書法展』を開催します。2021年、「書道」が国の登録無形文化財に選ばれ書道界がさらなる盛り上がりを見せるなか、『読売書法展』も出品資格を引き下げるなどして門戸を広げ、書道文化の普及・振興に努めてまいります。

本冊子「『読売書法展』出品の手引き」では、『読売書法展』の概要や出品方法を写真やイラストもまじえ分かりやすく解説しました。ご覧になられた方が『読売書法展』に親しみ、出品や来場のきっかけとなれば幸いです。

2022年4月
読売新聞社 読売書法会

目次

出品について	P2
公募出品Q&A	P4
読売書法展について	P6
資格・賞について	P7

読売書法展とは

『読売書法展』は、「書」の公募展です。1984年の第1回展から着実に歩みを進め、現在では出品点数約2万点、全国8都市を巡回する全国最大規模の書道展に成長しました。

『読売書法展』の最大の特徴は、古典に根差した「伝統の書」を徹底的に追究する点です。スローガン「本格の輝き」のもと、日本書道界を牽引する書家が審査に当たり、自らも出品しています。

読売書法会とは

読売書法会は、約6,500人の役員書家で構成される書道団体です。読売書法会の役員書家は古典を考証しながら、新たな可能性を追求し、常に自己研鑽を怠りません。特に、日本芸術院会員、文化功労者などから成る幹部書家は、その創作活動を通じ現代書道芸術の根幹を支えています。

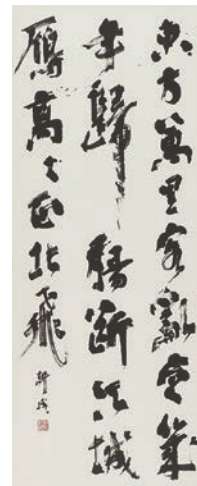
読売書法会の役員構成

会長
最高顧問
顧問
常任総務
参事
常任理事
賛助会員
参与
理事
幹事
評議員

出品について

部門

4部門の中から、一人一点出品できます。



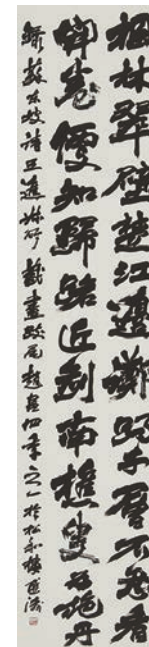
行書



行草書



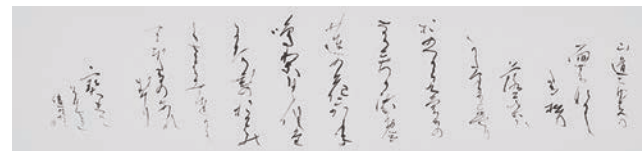
篆書(金文)



行草書



篆書(金文)

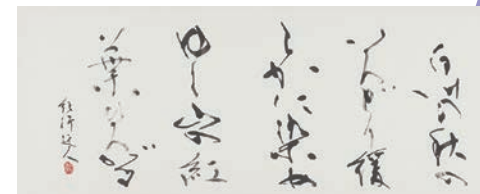


かな部門

日本伝統のかな文字を用いて和歌や俳句などを書きます。

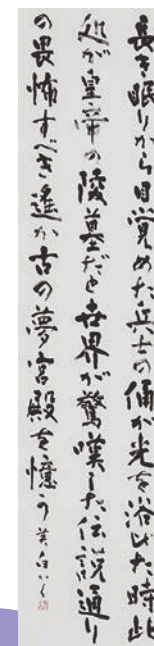
篆刻部門

古代中国の青銅器、木簡などに見られる書体、篆書を石の印材に彫り込みます。



調和体部門

漢字とかなを両方使い、名言や近代以降の詩などを題材に誰でも読める作品を書きます。漢字系・かな系・篆刻系があります。



参考写真：第37回読売書法展 読売大賞・読売準大賞受賞作品

コラム

初めての方におすすめ 臨書・模刻

中国や日本の古典作品をお手本とし、その字を模倣して書いたり印を彫ったりすることを「臨書・模刻」と呼びます。読売書法展では、公募の方に限り、臨書・模刻による作品の出品を認めていますので、「創作の作品はハードルが高い…」といった方も臨書・模刻で挑戦することができます。



蘭亭序—神龍半印本—(台東区立書道博物館蔵)

体裁・寸法

体 裁
作品は下記のいずれかの表装を施した上で鑑別、審査および展示されます。表装は表具店に依頼ください。

① 額装(アクリル入り)〈漢字、かな、調和体部門〉=役員のみ
② 枠装(アクリルなし)〈漢字、かな、調和体部門〉=会友^{※1}・公募
③ 額装〈篆刻部門〉
④ 帖 〈漢字、かな、調和体部門〉
⑤ 卷子〈漢字、かな、調和体部門〉

▷軸装、屏風、未表装の作品は受け付けません。
▷対聯^{※2}の作品および複数枚の用紙を使った作品は、必ず同一の額または枠内に入れて表装してください。

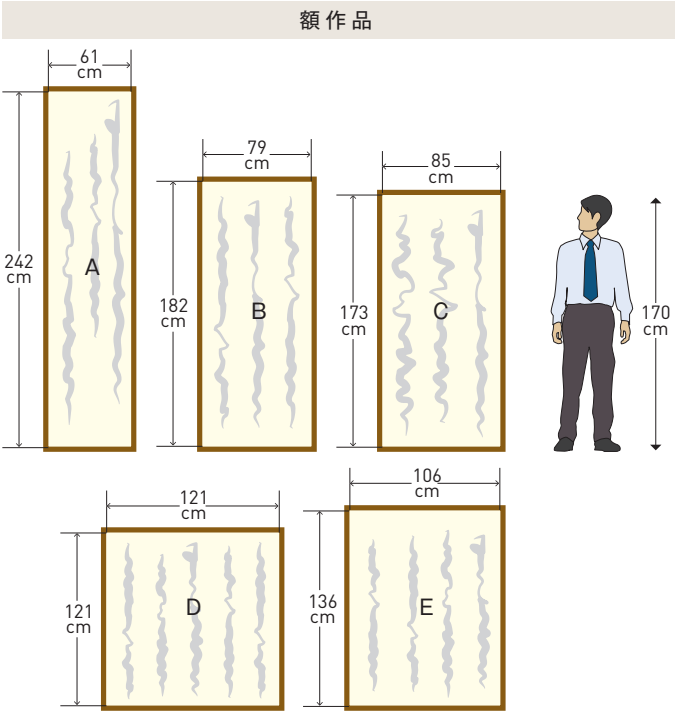


第37回展 東京展 第一会場(国立新美術館)の様子

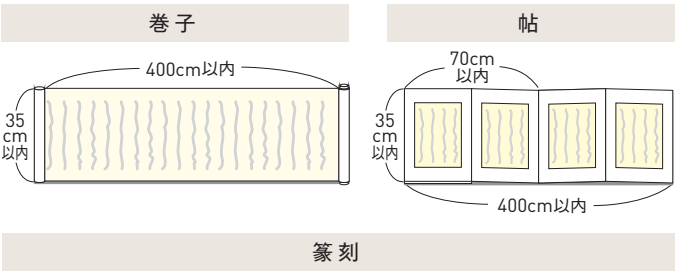
寸 法
作品は下記の表装寸法を厳守してください。作品本紙の寸法および材質、種類についての規定はありません。

① 額作品〈漢字、かな、調和体部門〉
下表「額作品の規定」の通り

	役員 (評議員以上)	会友・公募
アクリルの有無	○	×
額の重量	12kg以内	5kg以内
額の厚さ	5cm以内	3cm以内
A 242cm(8尺)×61cm(2尺)	縦横自由	
B 182cm(6尺)×79cm(2.6尺)	縦横自由	
C 173cm(5.7尺)×85cm(2.8尺)	縦横自由	
D 121cm(4尺)×121cm(4尺)	—	
E 136cm(4.5尺)×106cm(3.5尺)	縦横自由	



- ② 帖、卷子〈漢字、かな、調和体部門〉
縦35cm(1.15尺) 横400cm(13.2尺)以内
※ただし、帖は、見開き 横70cm(2.3尺)以内です。
- ③ 額装〈篆刻部門〉
縦39cm(1.3尺) 横30cm(1尺) 厚さ4cm以内(縦のみ)
※五方以内(印影のみ)を作品1点とみなします。



※1 入選を10回以上重ねた「公募」の方が「会友」に昇格できます。会友や役員は必ず会場に作品が展示されます。
※2 「対聯」=2枚の用紙を使った作品の形式

応募資格

- Q 応募の条件はあるの？
2022年4月1日現在の年齢が満15歳以上(2007年4月1日以前に生まれた方)の方であればどなたでも応募できます。
- Q 会派に所属していないけど応募できるの？
年齢の条件を満たしている方は、どなたでも出品できます。

出品料について

- Q 出品料はいくらかかるの？
● 2022年4月1日現在で、満15歳以上17歳以下の方(2004年4月2日から2007年4月1日までに生まれた方) …7,000円
● 満18歳以上の方 …15,000円
※いずれも表具店経由でお支払いいただきます。

- Q 他にどのような費用がかかるの？
表具店にお支払いいただく表装代や作品の搬入・搬出、返却などに要する費用があります。作品の種類や表具店によって異なるので、申込表具店にお問い合わせください。
- Q 表具店はどこでもいいの？
指定表具店(連絡先は別紙一覧参照)をご利用ください。会派に所属しておらず、指定表具店がない、分からないという場合は5月20日(金)までに下記にご連絡の上、所定の手続きをとってください。
株式会社川端商会
(〒124-0006 東京都葛飾区堀切2-16-2 TEL:03-3691-3200)

コラム 表具店って？

出品作品の取りまとめ、表装、審査会場への搬入、返却を行う業者です。読売書法展は指定表具店を定めています。

出品方法について

- Q どうすれば出品できるの？
出品票に必要事項を記入の上、出品料とともに指定表具店に申し込んでください。
- Q 出品票はどのように入手するの？
過去3年以内に出品実績がある方には、登録住所に出品票をお送りします。初めての方、前回出品が4年以上前の方は、5/6(金)必着で下記請求先に必要事項をご連絡ください。
【出品票請求先】
宛先：読売書法会事務局
住所：〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社事業局内 TEL.03-3216-8903
- 【必 要 事 項】
郵便番号、住所、電話番号、姓(フリガナ)、本名(フリガナ)、生年月日、性別、出品部門(漢字・かな・篆刻・調和体)
※調和体部門の場合は、漢字系・かな系・篆刻系の中からいずれか1つを選択。

- Q 出品や申し込みの締め切りは？
6月中旬の「書類搬入(=出品受付)」までに各表具店が取りまとめます。締め切りは表具店ごとに異なるので、申込表具店にお問い合わせください。

結果について

- Q どのような成績があるの？
公募出品の成績は、「特選」「秀逸」「入選」「選外」があります。「特選」の場合は東京展と各地区展に、「秀逸」「入選」の場合は各地区展に展示されます。
- Q 審査結果はいつ分かるの？
8/2(火)に読売書法会ホームページ(<https://yomiuri-shohokai.com>)にて入賞・入選者の一覧を発表する予定です。また、8月上旬にはお手元に結果通知を送付します。8月中旬以降、読売新聞の各地域版でも都道府県別の入賞・入選者一覧を掲載する予定です。

返却について

- Q 作品はいつ返却されるの？
東京展や各地区展に展示される場合は展示終了後、「選外」の場合は審査終了後に申込表具店から返却されます。返却の日時や方法は出品申込時に表具店に確認ください。

読売書法展について

1年の流れ

3月	出品募集開始
4月～5月	表具店への作品申込・出品
6月	出品受付 (表具店が読売書法会に出品票など搬入)
7月～8月	審査会 ● 作品搬入
	● 鑑別(入選決定) ● 審査(入賞決定) ● 特別賞選考 ● 作品搬出
8月2日(火)予定	入賞・入選者発表 (ホームページ・読売新聞紙面)
8月上旬	結果通知
8月～12月	東京展／関西展／中国展／北海道展／ 四国展／東北展／中部展／九州展 順次、作品返却



第37回展 東京展 第一会場(国立新美術館)の様子

展覧会

全国8地区、11会場で行われます。お住いの都道府県によって展示される地区が決まりますが、受賞作品や幹部書家の作品は複数の会場で展示されます。
出品者は、結果通知に同封される「入場証」を持参すれば、全会場に何度でも入場可能です。



2021年8月12日 朝刊 全国版 編集特集



2021年8月29日 朝刊 京都版 都道府県別入選・入賞者一覧(各地域版で掲載)、受賞者インタビュー



2021年8月20日 朝刊 全国版
読売大賞受賞者インタビュー

読売新聞紙面

8月2日(予定)の大賞・準大賞作品の発表を皮切りに、全国版や各地域版で作品の写真や入選・入賞者名簿が掲載されます。

会場物販について(第37回展実績)

- 「読売書法展 入賞作品図録 入賞・入選者目録」(1,500円)
入賞者の作品写真(モノクロ)、入選・入賞者の名簿を掲載しています。出品者は、結果通知に同封される「図録引換券」を持参すれば、全会場で引き換えることができます。
- 「読売書法展作品集」(3,000円)
日本書道界を代表する最高顧問、顧問、常任総務、参事、常任理事の出品作品をカラーで掲載しています。
- 「読売書法展作品集DVD-ROM」(2,000円)
全役員(最高顧問、顧問、常任総務、参事、常任理事、賛助会員、参与、理事、幹事、評議員)の出品作品データを収録しています。
- 「読売書法会 会報」(100円)
審査員のコメントや、特別賞受賞作品のカラー写真を掲載しています。出品者は、結果通知に同封される「図録引換券」を持参すれば、全会場で引き換えることができます。



資格・賞について

会員の資格に応じて様々な賞があり、
受賞を重ねることで資格が上がります。
例)入選を10回以上重ねた「公募」の方が「会友」に昇格できます。

賞の名称	対象資格
読売大賞	理事
読売準大賞	
読売新聞社賞	幹事
読売俊英賞	
読売奨励賞	評議員
特選	会友、および 公募の入選者
秀逸	
入選	公募

読売書法会のシンボルについて

表紙にも使われている漢字は、「羲」という漢字です。これは、王羲之(303～361?)が、「喪乱帖」(宮内庁保管)という作品の中で書いた字を基にしています。王羲之は書の歴史上最高とされ「書聖」と称されていますが、本人が直接書いた作品は中国にも残っておらず、すべてが模本や複製です。「喪乱帖」はその中でも最も精密な複製で、王羲之の文字を最もよく伝えているとされています。

かな文字は藤原行成(972～1028)による「かな文字」の一部を基にしています。藤原行成は、日本で初めての書道流派・世尊寺流の開祖とされ、小野道風、藤原佐理とともに「書の三蹟」と呼ばれています。

